

情報BOX

後発医薬品の原薬調達状況に関する調査結果

—厚生労働省医政局経済課委託事業「平成24年度ジェネリック医薬品の信頼性向上のための評価基準等に関する調査検討事業」報告書（平成25年3月）より

掲載にあたって

『ジェネリック研究』編集委員会委員長 緒方 宏泰

「平成24年度ジェネリック医薬品の信頼性向上のための評価基準等に関する調査検討事業」は、平成24年11月～平成25年3月にかけて実施され、その報告書が作成され、公開されています。

本事業の目的は、①「後発医薬品の安心使用促進アクションプログラム」の実施状況等の検証、②安定供給体制等を指標とした製造販売業者等の評価基準策定のための検討、③後発医薬品の原薬調達状況に関する調査を実施し、企業の安定供給等に対する取組を促進することにより、医療関係者や国民が安心して後発医薬品を使用できる環境づくりを図ること、とされています。

上記③に関しては、日本ジェネリック製薬協会の協力のもと、薬価収載実績のある製造販売業者等全199社に対するアンケート調査を実施し、158社から得られた回答を集計・分析しています。

日頃は目にすることの少ない貴重な資料となっていることから、この度、③「後発医薬品の原薬調達状況に関する調査」の報告書全文を、厚生労働省医政局経済課の許諾を得て掲載することといたしました。関係する幅広い方々の参考となり、ご活用されることを期待しております。